

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【公開番号】特開2012-68636(P2012-68636A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2011-198923(P2011-198923)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 1 R 13/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/36 5 1 0 A

G 0 1 R 13/00 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 D

G 0 9 G 5/00 5 2 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月5日(2014.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ピクセル式画面にデジタル波形データを表示する方法であって、  
 パツファにおいて複数の逐次標本として存在する波形データを取り出すステップと、  
 第一の標本を複数のピクセルを含む画面(110)の第一の点と関連付けるステップと、  
 前記第一の標本に続く第二の標本を前記ピクセル式画面(110)の第二の点と関連付ける  
 ステップと、  
 前記第一の点と前記第二の点とを結ぶ矩形線分の境界を決定するステップと、  
 前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する前記ピクセル式画面(110)の  
 各々のピクセルについて、前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する当該ピ  
 クセルの内部の小ピクセルの数を決定するステップと、  
 前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する前記ピクセル式画面(110)の  
 各々のピクセルについて、前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する当該ピ  
 クセルの内部の小ピクセルの前記数を強度値と相関付けするステップであって、該強度値  
 は次いで前記ピクセルと関連付けられる、相関付けするステップと、  
 前記関連付けられた強度値により前記画面(110)のピクセルをペイントすることによ  
 り波形データを表示するステップと  
 を備えた方法。

【請求項2】

前記矩形線分の前記境界は、前記矩形線分の上昇角を横線幅設定値及び縦線幅設定値と共  
 に用いて決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記矩形線分の前記境界を決定するのに用いられる横線幅設定値を手動調節するためにユ  
 ーザ・インタフェイス(106、200)を用いるステップをさらに含んでいる請求項1  
 または2に記載の方法。

## 【請求項 4】

前記矩形線分の前記境界を決定するのに用いられる縦線幅設定値を手動調節するためにユーザ・インタフェース(106、200)を用いるステップをさらに含んでいる請求項1乃至3のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 5】

前記矩形線分の前記境界を決定するのに用いられる横線幅設定値及び縦線幅設定値を手動で同時に調節するためにユーザ・インタフェース(106、200)を用いるステップをさらに含んでいる請求項1乃至4のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 6】

各々のピクセルと関連付けられる前記強度値は、強度値マップ(600)を用いて相関付けされる、請求項1乃至5のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 7】

心電図記録装置(102)を用いて前記波形データを得るステップをさらに含んでいる請求項1乃至6のいずれかに記載の方法。

## 【請求項 8】

ピクセル式画面にデジタル波形データを表示するシステムであって、  
バッファにおいて複数の逐次標本として存在する波形データを取り出すように構成されているコンピュータ・プロセッサ(104)を備えており、  
該コンピュータ・プロセッサ(104)は、第一の標本を複数のピクセルを含む画面(110)の第一の点と関連付けるように構成されており、  
前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記第一の標本に続く第二の標本を前記ピクセル式画面(110)の第二の点と関連付けるように構成されており、  
前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記第一の点と前記第二の点とを結ぶ矩形線分の境界を決定するように構成されており、  
前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する前記ピクセル式画面(110)の各々のピクセルについて、前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する当該ピクセルの内部の小ピクセルの数を決定するように構成されており、  
前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する前記ピクセル式画面(110)の各々のピクセルについて、前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記矩形線分の前記境界の内側に部分を少しでも有する当該ピクセルの内部の小ピクセルの前記数を強度値と相関付けするように構成されており、該強度値は次いで前記ピクセルと関連付けられ、  
前記画面(110)は、前記関連付けられた強度値によりピクセルをペイントすることにより波形データを表示するように構成されている、システム。

## 【請求項 9】

前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記矩形線分の上昇角を横線幅設定値及び縦線幅設定値と共に用いて前記矩形線分の前記境界を決定するように構成されている、請求項8に記載のシステム。

## 【請求項 10】

利用者が、前記矩形線分の前記境界を決定するのに用いられる横線幅設定値及び/又は、縦線幅設定値を手動調節することを可能にするように構成されているユーザ・インタフェース(106、200)をさらに含んでいる請求項8または9に記載のシステム。

## 【請求項 11】

前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、前記強度値を各々のピクセルに相関付けするために強度値マップを用いるように構成されている、請求項8乃至10のいずれかに記載のシステム。

## 【請求項 12】

前記コンピュータ・プロセッサ(104)は、心電図記録装置を用いて前記波形データを得るように構成されている、請求項8乃至11のいずれかに記載のシステム。

